

**会社名** ピープル株式会社

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 小暮雅子

上場取引所: 東証JASDAQ

コード: 7865

TEL: 03-3862-2768

問合せ先: IR担当 飛田留美子

**(連結業績)**

科目	月次の対比			《過去12ヶ月累積期間の対比》		
	2019年1月期 2月度	2020年1月期 2月度	前年 同月比	17/2/21～ 18/2/20	2018/2/21～ 2019/2/20	注)前年 同期間比
注1.) 売上高	273,967	<b>277,662</b>	101.3%	4,191,830	4,149,760	99.0%
営業利益	37,650	<b>30,139</b>	80.1%	433,561	424,886	98.0%
経常利益	37,748	<b>30,096</b>	79.7%	422,339	413,440	97.9%
税引前利益	37,748	<b>30,096</b>	79.7%	464,457	413,440	89.0%

注2.) 流動資産	2,241,414	<b>2,241,015</b>	100.0%
固定資産	174,478	<b>219,297</b>	125.7%
流動負債	312,355	<b>339,602</b>	108.7%
固定負債	-	-	-
純資産	2,103,537	<b>2,120,710</b>	100.8%
総資産	2,415,892	<b>2,460,312</b>	101.8%

注1) 当期より月次業績においても前期・当期ともに連結にて損益状況を記載しております。

注2) 貸借対照表実績数値につきましては、親会社単体の当期末日時点の実績値を記載しております。連結貸借対照表は、毎四半期決算時に記載させていただきます。

**商品別売上高**

商品カテゴリ名	月次の対比(連結)			《過去12ヶ月累積期間の対比》		
	2019年1月期 2月度	2020年1月期 2月度	当期間 構成比	17/2/21～ 18/2/20	2018/2/21～ 2019/2/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	92,761	<b>97,596</b>	35.1%	1,406,779	<b>1,367,078</b>	<b>32.9%</b>
女兒玩具	39,815	<b>27,116</b>	9.8%	613,608	<b>454,842</b>	<b>11.0%</b>
遊具・乗り物	19,414	<b>46,043</b>	16.6%	495,098	<b>505,467</b>	<b>12.2%</b>
海外販売、その他	121,977	<b>106,906</b>	38.5%	1,676,345	<b>1,822,374</b>	<b>43.9%</b>
合計	273,967	<b>277,662</b>	100.0%	4,191,830	<b>4,149,760</b>	<b>100.0%</b>

**2月度新発売およびリニューアル商品**

商品カテゴリ名	商品名	標準小売価格(税別)
乳児・知育玩具	「やりたい放題セレクト」(リニューアル)	¥3,480
	ピタゴラスシリーズ「小学生ピタゴラス」(1・2年生、3・4年生、高学年)計3種	各¥3,480
	ノンキャラ良品シリーズ「なめられ太郎4代目」	¥550
	同「刺激たつぷりなめもみ花子」	¥550
	同「頭が育つボトルラトル」	¥680
	同「新素材ビニール くずピタバック」	¥880
女兒玩具	同「筋トレバーガー」	¥680
	お人形「あたしのかわいい妹ぼぼちゃん リンクコーデアクセつき」	¥4,580

第43期、2月度は、玩具部門において複数の新製品の一齐発売があり、自転車部門で前年同月には無かった新車種の好調な補充出荷が重なったことから国内販売が底上げし、売上高は2億78百万円、前年同月比1.3%増となりました。

乳児・知育玩具では、低単価のノンキャラ良品シリーズで一斉5品目の発売の他、広く店舗カバレッジを持つ「やりたい放題セレクト」(税別¥3,480)、「小学生ピタゴラス」3品(各税別¥3,480)等のロングセラー定番品のリニューアル発売が続々と売上に貢献しています。

また、当2月度ではお人形ぼぼちゃん誕生から23年間のイメージを刷新した新製品「あたしのかわいい妹ぼぼちゃん」(税別¥4,580)を発売しています。他の人形に無いベネフィットである幼い母性を育むふわふわボディをそのままに、お顔、ファッション、ヘアスタイル等に新しさをきめ細かく施し、パッケージを革新しました。可愛く上質な新時代のお人形ブランドとしてのキャンペーンをTVCM、SNSを駆使し開始しています。抱き人形市場が低迷していることから流通からの期待が高まり出荷されました。

自転車部門では、人気の「ケッターサイクル」の補充が活発な他、当2月度では3～4歳の自転車デビューから9歳まで長く乗れる「共伸びサイクル」が量販店向けにまとまって出荷されています。幼児車では競争激しい16～18インチ市場で、当該品は最も長く乗れる設計で違いを訴求しています。